

2023年3月27日

通貨ニュース

G4 PMI 速報値: グローバルに非製造業が上向く

S&P Global 社が集計する購買担当者指数 (PMI) によれば、3 月分の G4 (米国、ユーロ圏、英国、日本) のコンポジット PMI (速報値、以下同様) は 53.6 と前月 (51.2) から上昇した (図表 1)。8 か月ぶりに拡大/縮小の目安となる 50 を回復したのち、増勢を維持した。G4 製造業 PMI は 48.4 と前月 (47.9) から上昇も、6 か月連続の中立水準割れを記録。また、非製造業 PMI に関しては 54.3 と前月 (51.7) から 3 か月連続で上昇し、前月に続き中立水準超えとなった。非製造業 PMI の改善が引き続き顕著で、非製造業 PMI と製造業 PMI との差異はデータの取れる 09 年 10 月以降で最大となった。

まず、製造業 PMI の構成項目別に確認しよう。製造業 PMI の生産指数は、49.9 と前月 (48.2) から 4 か月連続で上昇し、中立水準に近付きつつある (図表 2)。なお、サブ指数である生産見通し指数は、63.3 と前月 (63.8) から 2 か月連続で低下した (図表 3)。一方、非製造業 PMI の活動見通し指数は、64.0 と前月 (65.2) から 5 か月ぶりに低下も、高水準を維持している。製造業の現況指数は改善傾向にあり、22 年 6 月以来となる中立水準超えも近い。ただし、製造業 PMI の生産見通し指数と非製造業 PMI の活動見通し指数はいずれも頭打ちの兆しを見せており、高止まりすると予想される各国の政策金利が見通しを押さえつけていることが推察できる。

次に、製造業 PMI の新規受注指数は 47.4 と前月 (45.2) から 3 か月連続で上昇した。昨年末以降底打ちをしているものの、依然として回復ペースは鈍く、10 か月連続の中立水準割れだ (図表 4)。また、サブ指数の新規輸出受注指数も 46.0 と前月 (45.2) からは上昇するも、11 か月連続で中立水準割れを継続している (図表 5)。中国経済の回復期待などを背景に両指数ともに底打ちはしているものの、新規輸出受注指数の推移に鑑みれば、特に外需の下押しへの警戒感が根強いようだ。

また、製造業 PMI の原材料在庫指数は 48.7 と前月 (47.6) から 3 か月連続で上昇した (図表 7)。しかしながら、5 か月連続で中立水準割れを続けており、継続的な消費者需要縮小を反映し、企業が在庫を圧縮させ続けていることが確認できる。ここでも、企業の慎重姿勢が示唆されよう。

続いて製造業 PMI の雇用指数を確認すると、51.6 と前月 (51.9) から低下した (図表 8)。22 年初程の増勢はないが、28 か月連続で中立水準超え記録しており、未だに採用意欲は弱含んではないようだ。非製造業 PMI の雇用指数は 52.4 と前月 (51.6) から上昇し、32 か月連続の中立水準超えを記録している。特に、年初以降の増勢が顕著だ。米国を中心に、特にサービス部門での雇用者数増が続いていることも平仄が合うだろう。

市場営業部

長谷川 久悟

03-3242-7065

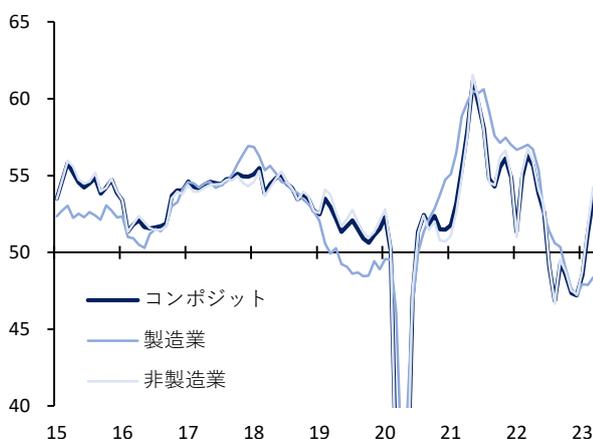
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

製造業 PMI の最後の構成項目である入荷遅延指数(逆インデックス)は、56.7と前月(52.4)から11か月連続で上昇し、データの取れる07年5月以降で最高水準に達した(図表9)。従前からの供給制約改善に加え、需要の減退がサプライチェーンの目詰まり改善に拍車をかけているようだ。また、サブ指数である仕入れ価格指数は54.5と前月(56.4)から6か月連続で低下。出荷価格指数に関しても54.7と前月(58.8)から低下した(図表10、11)。非製造業 PMI の価格指数に関しても同じく低下基調にあり、広範にデフインフレーションの進行が確認できよう。

また、コンポジット PMI に関し G4 各国を国別に確認すると、米国(50.1→53.3)やユーロ圏(52.0→54.1)を中心に概ね良好な結果だった(図表12~18)。英国は前月の53.2から52.2へ低下するも、依然として高い水準を維持している。また、非製造業 PMI が堅調であったことは冒頭でも述べたとおりだが、中でも日本のそれは印象的だ。3月の非製造業 PMI は54.2と前月(54.0)から小幅ながら上昇し、13年10月以来の高水準となった。インバウンド需要や、新型コロナ感染症の法律上の取り扱い改定に伴う市中の人流復活によるサービス消費活性化期待により、今後も高い水準での推移が期待できるのではないかと。

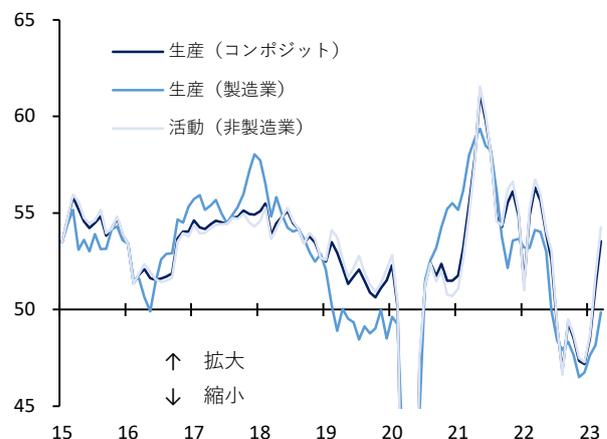
今回の調査期間は、米地銀破綻に端を発する金融システム不安が取りざたされた時期を含んでいるものの、明確な影響は確認できなかった。今後の企業景況感の推移に関しては、今後本格的に顕在化するであろう利上げの需要抑制効果に加え、場合によっては金融システム不安による景況感押し下げの影響にも注意を払いたい。

図表 1: G4 PMI



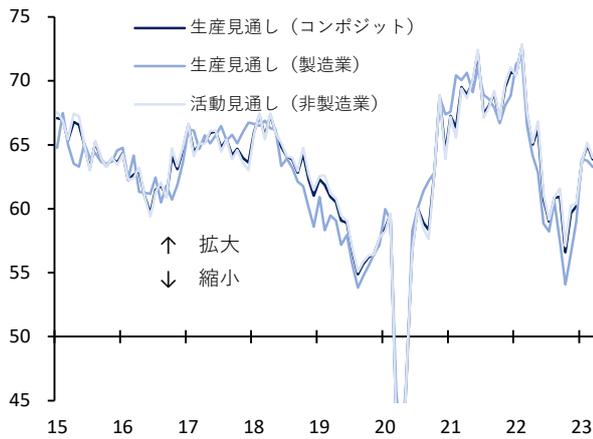
出所: S&P Global、みずほ銀行
 ※パンデミック期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様

図表 2: 生産/活動指数



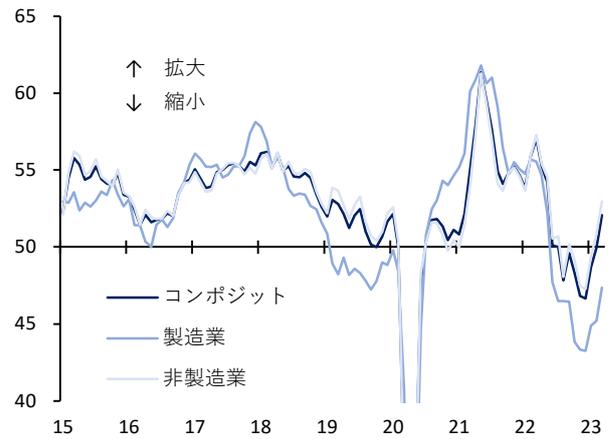
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: 生産/活動見通し指数



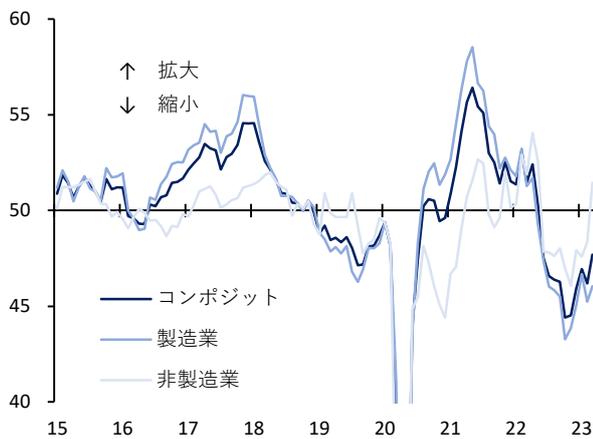
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 4: 新規受注指数



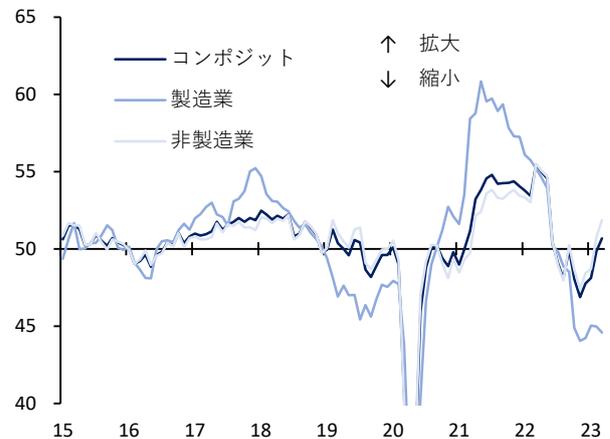
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 新規輸出受注指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 受注残指数



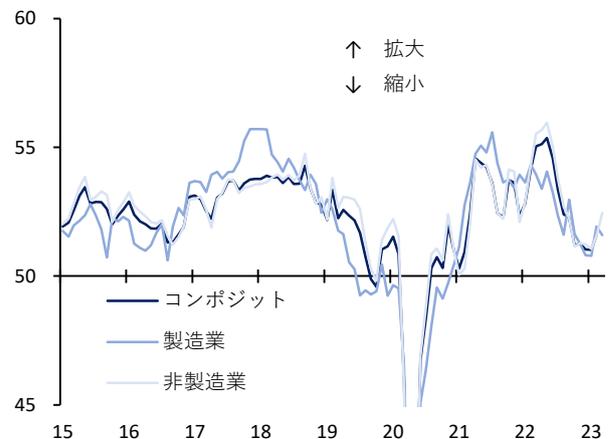
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI-在庫関連指数



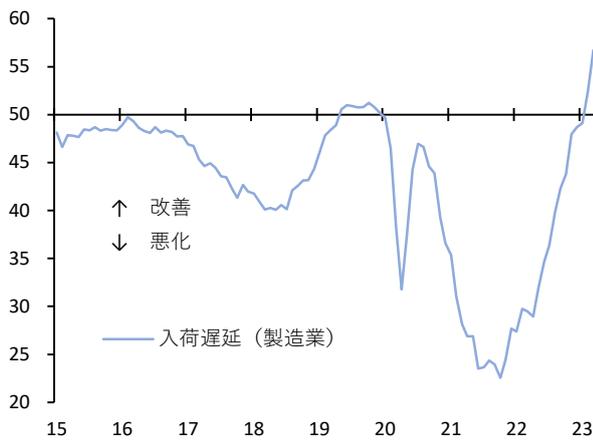
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 雇用指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 製造業 PMI・入荷遅延指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 仕入れ価格指数



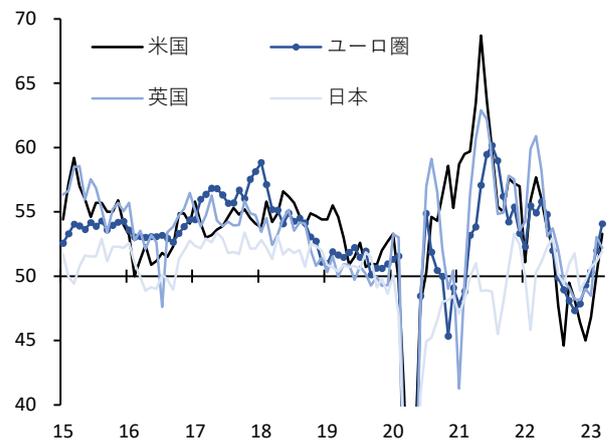
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 出荷価格指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 12: コンポジット PMI・国別



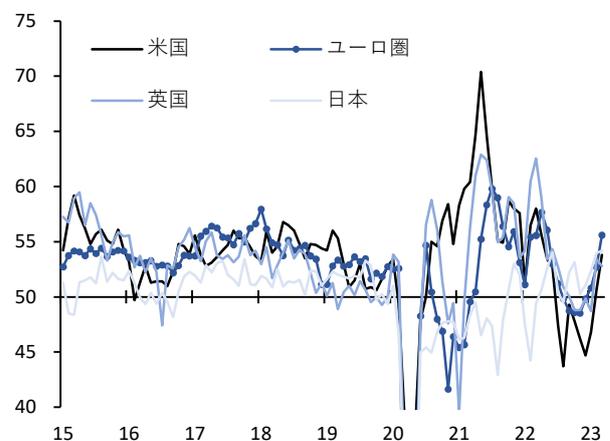
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: 製造業 PMI・国別



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: 非製造業 PMI・国別



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: 米国



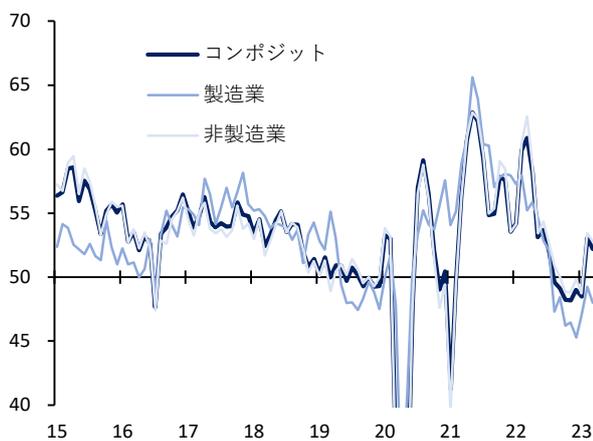
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: ユーロ圏



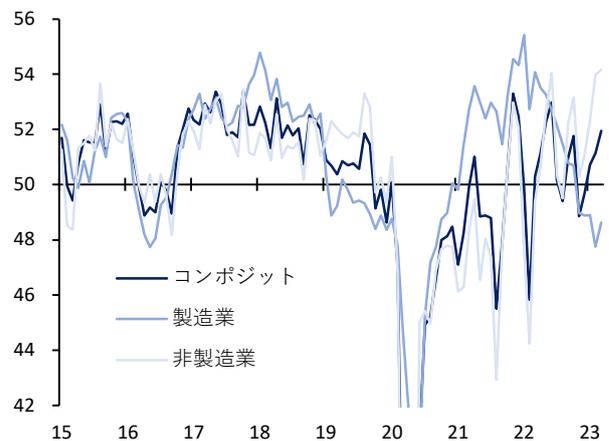
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: 英国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: 日本



出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。